

# 美 楽 舎

B i G a K u S Y a  
Newsletter

No. 308

会報 第 308 号 (平成 29 年 6 月発行)

東京都中央区銀座 1-13-4 大和銀座ビル6F  
K's Gallery 内

Tel 03-5159-0809 Fax 03-5579-9004

Mail kgallery@eagle.ocn.ne.jp HP <http://bigakusya.com>

## 第 332 回 (5 月) 例会

市原研太郎氏 講演

2017 年 5 月 13 日 (土)

参加者: 会員他 10 名

会場: TS4312

## 日本のアートマーケット活性化の為の

## 「マーケットをめぐる日本のアートが直面している問題」

(国内外の事情を比較して)



### 【澤登丈夫】

回の講演は、市原さんが現代アートの世界と日本のギャップについてである。長く現代美術を見ていて3つギャップを感じている。それが日本の現代アートが進展しない問題になっている、と感じている。とのこと。

1 マーケット ②アーティスト、表現 ③ギャラリー、  
今回その第一回目としてアート市場について述べる。  
まずは マーケットギャップの話である。日本にいて  
はなかなかそのギャップが見られない。それを認識し  
ていただいてそれを超えるようにしていただきたい。

その例として、奈良美智を上げる。ドイツのヨーネン画廊 (Johnen Galerie) 2015年の展示。奈良美智は日本の時の作品より強く、くっきり見える。ギャラリーは作品の見え方を画廊自身がその場、地域に合うように変えている、画廊はその市場、海外に訴える作品を出している、と思う。この国に合わせたテイストの違いが、日本 (ローカル) と海外 (アジアを含む) との違いギャップである。画廊は場所、地域のテイストにあった作品を売れるように飾っている。

これはアートフェアを見ればわかる。いまや世界の状況を見るに、香港のアート・バーゼルを見るとよくわかる。東京アートフェアはあるが全くローカル。近現代ではやって行けず、古美術も入っているフェアである。

### 経済規模

アートフェア東京の全売り上げは23億5千万。近現代はその1/10で2、3億程度の規模、入場者5万人。アート・バーゼル香港は、統計は出していないがネットの情報で見るとビッグ画廊で業界紙などの情報。

リュック・タイマンズは1.5億と出ている。中国コレクター。有名なアーティストは千万単位、普通の作家